

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

江戸川フラワーライン 春の花まつり

江戸川松戸フラワーラインで行われるお祭りです。
満開のポピー畑の中で、模擬店や花の即売、E-ボート体験乗船などが行われます♪



■日 時 平成29年5月27日(土曜)
午前10時～午後2時
■場 所 江戸川松戸フラワーライン
(江戸川河川敷上葛飾橋下)

千葉地方裁判所松戸支部における労働審判の開設を求める決議

平成18年4月1日に施行された労働審判制度は、個々の労働者と事業主との間に生じた労働関係に関する紛争を、裁判所において、迅速、適切かつ実効的に解決することを目的とした制度であり、施行以来高い解決率を得ている。そのため、労働者側はもちろん、紛争を早期に解決したいと考える使用者側にとっても、評価が高い制度であり、制度の導入以来、全国的に見れば労働審判の申立件数は増加している。

しかしながら、労働審判は原則として各地方裁判所の本庁で実施され、裁判所支部では現在、福岡地方裁判所小倉支部と東京地方裁判所立川支部のみでしか実施されておらず(平成29年4月からは長野地方裁判所松本支部、静岡地方裁判所浜松支部、広島地方裁判所福山支部で実施予定)、千葉県内では労働審判を取り扱っている裁判所は千葉地方裁判所本庁のみとなっている。

そのため、松戸市の労働者や事業主が労働審判を利用するには、本庁がある千葉市まで出向かなければならず、移動のために多大な時間的、経済的な負担を強いられることになる。そして、紛争の性質上、それほど係争金額が大きくないことが多いため、費用対効果の観点から労働審判の利用を諦めざるを得ないケースも生じている。

国民・市民に対する司法サービスの提供は、地域間で格差があってはならず、裁判を受ける権利を実質的に保障するためには、地方裁判所の支部において取り扱うことができる事件を拡大することが必要である。

よって、松戸市議会は、裁判所において、地域における司法の充実を図るため、下記の事項について措置を講じるよう強く求め、決議するものである。

記

千葉地方裁判所松戸支部において、早急に労働審判の取り扱いを開始すること。

千葉県松戸市議会

3月定例会

平成29年3月定例会を2月22日から3月23日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。

また、市長から提出のあった副市長の選任議案1件、農業委員会委員の任命議案14件、教育委員会委員の任命議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案2件それぞれに同意しました。さらに、28年度補正予算案7件を可決しました。

このほか、市長が提出した29年度予算に関する議案10件や条例などの一般議案19件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに監査委員および固定資産評価員の選任議案2件、議員提出議案11件を上程し、採決しました。

(2面に審議結果、3面に予算審査の主な質疑、4面に討論を掲載)

松戸市議会の情報をホームページで公開しています。

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」からご覧いただけます。



議会中継



松戸市議会

検索

インターネット放映アクセス件数40万9,351件 (平成17年6月開設～平成29年3月末)

3月定例会審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案					議員提出議案				
第49号	平成28年度松戸市一般会計補正予算(第4回)	総務財務	可決	多数意見	第30号	米海兵隊新型輸送機オスプレイの飛行中止と撤去を求める意見書	-	否決	多数意見
第50号	平成28年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	健康福祉	可決	多数意見	第31号	辺野古新基地建設を断念し、米国との普天間飛行場無条件返還交渉を要求する意見書	-	否決	多数意見
第51号	平成28年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	多数意見	第32号	特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律(カジノ解禁法)の廃止を求める意見書	-	否決	多数意見
第52号	平成28年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第33号	高齢者を中心とした社会保障負担増路線の撤回を求める意見書	-	否決	多数意見
第53号	平成28年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	健康福祉	可決	多数意見	第34号	「激しい戦闘状態」である南スーダンから自衛隊PKO部隊即時撤退を求める意見書	-	否決	多数意見
第54号	平成28年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回)	建設経済	可決	多数意見	第35号	核兵器禁止条約の交渉促進と早期締結を求める意見書	-	否決	多数意見
第55号	平成28年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)	病院特別	可決	多数意見	第36号	実効ある労働時間の上限規制で過労死根絶を求める意見書	-	否決	多数意見
第56号	平成29年度松戸市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決	多数意見	第37号	政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書	-	可決	全会一致
第57号	平成29年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	多数意見	第38号	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書	-	可決	全会一致
第58号	平成29年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	多数意見	第39号	海洋ごみの処理推進を求める意見書	-	可決	全会一致
第59号	平成29年度松戸市下水道事業特別会計予算		可決	多数意見	第40号	千葉地方裁判所松戸支部における労働審判の開設を求める決議	-	可決	全会一致
第60号	平成29年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算		可決	全会一致	陳情				
第61号	平成29年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	全会一致	第8号	テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)創設に反対する意見書の提出を求める陳情	総務財務	不採択	多数意見
第62号	平成29年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	多数意見					
第63号	平成29年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	多数意見					
第64号	平成29年度松戸市水道事業会計予算		可決	多数意見					
第65号	平成29年度松戸市病院事業会計予算		病院特別	可決	多数意見				
第66号	松戸市議会議員及び松戸市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致					
第67号	松戸市市民センター条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致					
第68号	松戸市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例及び松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致					
第69号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	全会一致					
第70号	東松戸まちづくり用地活用事業プロポーザル審査委員会条例の制定	総務財務	可決	全会一致					
第71号	まちづくり用地活用事業基金条例を廃止する条例の制定	総務財務	可決	全会一致					
第72号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	多数意見					
第73号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	全会一致					
第74号	松戸市難病者援護金支給条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第75号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	多数意見					
第76号	松戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第77号	松戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決	全会一致					
第78号	松戸市公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	全会一致					
第79号	契約の締結(松戸市中央消防署建設工事)	総務財務	同意	全会一致					
第80号	契約の締結(松戸市中央消防署建設機械設備工事)	総務財務	同意	全会一致					
第81号	契約の変更(松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業)	教育環境	同意	全会一致					
第82号	調停の成立	建設経済	同意	全会一致					

人事案件

副市長1人・監査委員1人・固定資産評価員1人の選任、農業委員会委員14人・教育委員会委員1人の任命、人権擁護委員2人の推薦に同意しました。(敬称略)

●副市長

●監査委員

●固定資産評価員

●農業委員会委員

●人権擁護委員

●教育委員会委員

- 飯 青 山 中 渡 小 鈴 杉 山 近 岩 渡 戸 椿 湯 山 眞 宮 伊 牧
- 箸 木 田 村 邊 宮 木 浦 室 藤 佐 邊 張 浅 口 嶋 間 藤 野
- 秀 早 達 洋 克 榮 昌 一 榮 忠 慶 春 唯 雅 輝 秀 智 英
- 行 子 郎 攻 子 忠 一 平 美 一 夫 弘 彦 之 之 雄 昇 二 清 之

予算審査特別委員会の 審査から

～平成29年度予算(10会計)を可決～

※病院事業会計は市立病院検討特別委員会で審査しました。

予算審査特別委員会委員

- 委員長 織杉山増鈴飯大
- 委員 幸祥子 薫明 敏
- 委員 正由正 智公知
- 委員 原山口 田木 善井
- 委員 大関 大山 桜
- 委員 塚根 谷口 井
- 委員 健ジ 茂 栄 秀
- 委員 児一 範 作 三

予算のあらまし

会計名		29年度予算額	伸長率(%)
一般	総務費	9,937,454	△13.4
	民生費	73,729,429	1.1
	衛生費	16,577,273	18.6
	労働・農林水産業費	373,451	△5.9
	商工費	901,945	6.4
	土木費	14,478,444	△30.7
	消防費	6,142,544	0.8
	教育費	12,820,446	△16.2
	その他	10,789,014	2.2
	計	145,750,000	△4.4
特別	国民健康保険	58,365,989	0.1
	松戸競輪	17,421,785	△26.6
	下水道事業	13,921,063	△0.2
	公設地方卸売市場事業	141,951	△35.1
	駐車場事業	89,002	△2.2
	介護保険	35,494,739	7.2
	後期高齢者医療	5,330,768	3.9
企業	水道事業	2,286,996	4.8
	病院事業	39,696,986	31.5
合計	318,498,919	△0.3	

問 公共施設再編は本市において一番大事な課題であると考えているが、どの組織が責任を持ち進めていくのか。

答 公共施設については、庁内組織として副市長を委員長とする部長級職員による検討委員会を設置しており、公共施設再編課においてさまざまな再編プランを関係課と協議した後、この検討委員会での協議検討を経て予算措置等へと進んでいくものと考えている。

検討委員会では、公共施設の総量を抑制する方向性が打ち出せないかと検討しているところであり、公共施設再編整備基本方針の具体的運用例について庁内へ周知を図ること等により、公共施設の総量の適正化につなげていきたいと考えている。

今後は、総合政策部が調整機能を果たし、公共施設再編課が先頭に立って公共施設再編を進めていきたいと考えている。

問 事業の特徴と新設の高校生クラスの内容について伺う。

答 本事業は、生活困窮世帯等の中学生および小学5・6年生を対象に、3会場で実施している。指導形式等の運営基本は、おおむね同じ内容であるが、学習塾のような雰囲気の場合、居場所的な雰囲気の会場、戸建てで家庭的な雰囲気が見られる会場等、会場ごとの特徴が見られる。また、子どもの学習支援事業連絡会議を毎月開催し、支援方法や支援状況の報告、課題検討等を行い、事業者間の共通認識を図っている。平成29年度は、会場の新設、高校生クラスの新設、模擬試験の実施という3点の事業拡大を考えている。高校生クラスの新設については、高校中退が将来の進路の選択肢を狭め、生活困窮状態に陥るリスクを高めることが懸念されることから、高校中退防止のための支援を開始する。

総務費

公共施設再編整備推進事業について

民生費

子どもの学習支援について

一般会計

衛生費

問 新型インフルエンザ対策の内容は

答 新型インフルエンザ対策は未発生期の段階から体制を整備し、発生に備えることが重要であり、平成26年11月に策定した「新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、発生時に市民生活の安定維持に従事する職員に必要な装備、あるいは業務を継続する中でまん延防止のための物資を計画的継続的に備蓄している。また、緊急事態に備え感染症対策委員会を年2回開催し、新型インフルエンザ発生を想定した情報伝達訓練等を通じて、平時から感染症に対する意識を高めるよう努めている。

農林水産業費

都市農地保全のためには

問 国において都市農地を守るための法改正が続く中、市では農林水産業費予算が年々減る一方である。農林水産業に対する市の姿勢が非常に弱いのではないかと。

答 現在、市では、生産農家等の意向や地域の公平性を鑑み、農作業の効率性や生産性の向上が見込まれるものを優先し支援等を行っている。今後も、都市農地の保全に有効性のある支援策等について関係団体と協議検討を行い、農政予算のさらなる確保に努めたい。また、国では、農地と住居環境の調和を図るため新たな用途地域を創設するとしている。引き続き、情報を収集し、関係部署と協議検討していきたい。

特別・企業会計

介護保険

配食サービスの今後の方向性は

問 高齢者等への配食サービス業務の現状と、今後の方向性を伺う。

答 本事業は、ケアマネージャーが日常生活全般を見渡した中でケアプランに位置付け利用いただいており、平成28年12月末現在、延べ2万4959食を提供しているが、利用は年々減少傾向にある。中には、配食サービスよりも食事の準備等ホームヘルパーの利用を増やすことが自立支援につながる場合もあり、真に必要な応じたプランへの見直しを行っていることが適正な利用につながり、配食数が減少した一因と考えられる。高齢者の日々の安否確認の面でも有効であることから、今後も引き続き実施していきたいと考えている。

土木費

問 矢切地区観光拠点検討業務について

答 ①都市公園と交流拠点の整備が計画される矢切地区の景観をどう考えるか。②松戸駅周辺、千駄堀地区等でも新たな開発が検討されているが、当該予算の承認により、全計画における優先順位も考えず、これを先行して整備していくのか。

教育費

問 図書館管理運営事業について

答 読書通帳・読書ノートの現状と、今後の展開について伺う。

①本事業は、交流拠点の整備にあたり、9m道路を設定するため測量・調査を行うものである。当該地区は次世代に継承すべき景観を有する地区であることから、事業が実施されたとしても、適切に指導していきたい。②全計画の事業費すべてを公費で負担することは難しい。本事業は、事業化を検討するための調査であり、これにより事業化が決定されるものではないと考える。

読書通帳・読書ノートの現状と、今後の展開について伺う。

答 読書通帳・読書ノートは、松戸図書館整備計画の目指す、本を通じて子どもを育む図書館を実現するための施策として平成28年度より導入した。読書通帳は、本館のこどものとしょかん・子ども読書推進センターにて29年2月末現在1260冊を配付している。読書ノートは、独自のキャラクターの活用など子どもが手に取りやすい形で作成し、2月末現在で小学校31校1万2144冊を配付した。今後、読書ノートは学校との連携を高めるツールとして活用し、読書通帳は記帳用機器の分館設置を段階的に進める等、読書環境整備の一環として積極的に進めたい。

水道事業

水道事業新基本計画の策定について

問 水道事業新基本計画を策定する背景は。また、その計画をどのように水道事業に生かすのか。

答 国が各水道事業体に対し役割に応じた水道ビジョンの策定を推奨したことから、本市としても将来を見据えた新基本計画、直近の10年間をめどとした事業計画、施設の健全度を分析した耐震化計画、資産から施設更新に向けた試算をしたアセットマネジメントの4点構成で策定を進めている。今後、本市が進めている総合戦略や実施計画との整合を図り平成29年度中での策定を予定しており、安全で安心な水道事業を進めていきたいと考えている。

平成29年度予算案について、
定例会最終日に討論を行いました。
ここでは、会派の討論を紹介します。

予 算 討 論

日本共産党

平成29年度一般会計、国民健康保険・競輪・介護保険・後期高齢者医療特別会計に反対し、他5会計に賛成する。

一般会計では、放課後児童クラブ利用料引き下げや、コミュニティバス実証運行などの取り組みを評価する。一方、個人番号制導入については、安全への十分な確証がないままの実施は、市民の個人情報

公明党

平成29年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算について、地方創生の深化を図る観点と松戸市総合戦略基本目標の視点等を重点に検討を重ねた結果、おおむね妥当と判断した。

総務費では、企画費全般として市内各所のまちづくり予算について関係各課の統括や優先順位を確認したが、明確でなかった。市全体の統括や財政状況を見極め、責任の所在を明確にした上で推進されたい。民生費では、子育てと仕事の両立への支援が大きく拡充された。今後も、子ども

ライバシー保護も守られない運用要綱であることから、専門家による法的検証と市民的議論を尽くすべきであり、市民参加型防犯ネットワークカメラ設置は到底納得できるものではない。よって、一般会計は市民の暮らしに軸足を置いたものとなっていないため反対する。国保会計は、社会保険の理念に立ち返り、一般財源からの法定外繰り入れを再開するなど、保険料引き下げを求め反対する。介護保険会計は、介護を必要とする人が必要なサービスをしっかりと受けられるよう、本来の介護保険のあり方を求め反対する。後期高齢者医療会計は、医療の必要性が高い75歳以上の高齢者を、年齢で区別した制度自体に反対である。

を安心して育てられる松戸市を実現されたい。土木費では、北小金駅北口・新松戸駅東口等で再開発計画が検討されている。進め方として、市民の意見を聞きながら、適宜、進捗を示されたい。教育費のま

政策実行フォーラム

平成29年度一般会計、各特別会計、水道事業会計に賛成し、病院事業会計に反対する。

一般会計のまちづくりでは、何を優先して臨むべきかが問われており、公共施設再編のあり方とまちづくりの模索を強く要望する。職員研修業務では、管理職を中心としたパワーハラスメント研修を開催しているが、課内での研修内容共有の徹底を人事課が主体になり把握するよう要望する。ハンディキャップへの配慮では、ヘルプマーク作成費の計上を評価し、リーフレットやポスターの作成を要望する。介護サービス給付事業では、

まつど市民

平成29年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

少子高齢化の影響で財源確保が厳しい中、誰がどのよう

歳出、総務費の地域代表者制度関係事業は、執行にあたり各地域で実施される事業が各地区の自治を促進し活性化に寄与できるものかどうかし

自立支援・重度化防止に向けた取り組みの推進を図り、将来的に給付の伸びを抑えられるよう努力を願う。生活支援体制整備事業の2層の生活支援コーデイネーターでは、すべての生活圏域で配慮ができるよう願う。教育行政では、近隣の県立高校では学校司書が常勤していることから、市立松戸高校の学校司書のフルタイム化に向けての検討および中学校への学校司書の配置を要望する。以上により憂慮する点、心配な点を指摘し、賛成する。各特別会計、水道事業会計は、事業の目的に沿った内容であるため賛成する。

病院事業会計には、予算の立て方への疑問と、現市立病院の経費をなくす努力がなかったことから、反対する。

市民クラブ

平成29年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

市の将来を見据え、持続可能な市政運営を行うため、公共施設再編をテーマとして審査に臨んだ。

歳入の総合教育会議運営事業では、公共施設の半数以上を占める学校施設の再編は避けて通れないため、教育委員会との意思疎通を図り、公共施設再編の意義、目的、方向性の共有を要望する。健康福祉会館管理運営事業では、施設における次期契約については、公共施設再編の視点の十分な配慮を要望する。空き店

ちょっと一息

～議会を傍聴しませんか～

簡単な手続きにより傍聴することができます。
市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。



議会傍聴のようす

委員会の審査から

2月23日・24日・3月6日・7日・8日・10日・13日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここでは、その審査の中での質疑・答弁（要点）を掲載します。

（審議結果は2面に掲載）

総務財務 常任委員会

議案第70号 東松戸まちづくり用
地活用事業プロポーザル審査委員
会条例の制定について

問 プロポーザル審査委員会の
構成委員の内訳は。また、委員の
資格要件は。

答 建築部門・都市計画部門・
経済部門・法律部門・コミュニテ
ィ福祉部門といった多様な分野か
らの専門家を想定している。条例
により委員は5人以内となってお
り、専門家については少なくとも
3人以上を想定している。また市
職員としては、総合政策部長の選
任を検討している。

問 当該委員会委員の公表につ
いては早い時期に行うと審査に影
響が出ると思われるが、どの時点
で行う考えか。

答 平成29年6月頃に募集要領
を決定したいと考えており、それ
に合わせ審査委員の公表も行いた
いと考えている。委員と事業者と
の間に利害関係が生じないよう、
制約等についてもコンサルタント
と相談していきたい。

健康福祉 常任委員会

議案第74号 松戸市難病者援護金
支給条例の一部を改正する条例の
制定について

問 今回、市が独自に認定して
きた4疾患を対象外にする理由は。

答 難病法の制定により難病の
定義が明確化され、また、本援護
金には国・県の補助がなく市の障
害福祉費が増大したため、対象疾
病を見直した。結果、難病者援護
金の対象疾患数を法に準じ65から
324疾患に増やし、独自認定し
てきた4疾患を対象外とした。

議案第76号 松戸市指定地域密着
型サービスの事業の人員、設備及
び運営に関する基準を定める条例
の一部を改正する条例の制定につ
いて

問 災害対策における地域との
連携をどのように考えているか。

答 非常災害対策の強化の点で
は、地域と顔が見える関係づくり
が重要と考えている。運営推進会
議等の場で災害対策に対する考え
方や地域とどう協力できるか、お
互いの関係を深めていただきたい。

教育環境 常任委員会

議案第81号 契約の変更について
（松戸市立小中学校空調設備整備
PFI事業）

問 空調設備が故障した際、学
校から直接業者への修繕依頼など、
スムーズな対応は可能か。

答 契約の中で、空調設備に不
具合が発生した場合は学校が直接
業者に連絡することとしているた
め、スムーズな対応が可能である。
議案第83号 和解について

問 原子力損害賠償紛争解決セ
ンター（ADR）から、和解金額
について算定根拠の説明はあった
か。また、申し立て額と和解額に
大きな差が生じたが市の見解は。

答 和解金の考え方については、
ADRセンターから提示された和
解案骨子に示されているが、算定
根拠の説明は行われていない。今
回の和解内容は、本市の主張すべ
てを認めるものではなかったこと
は大変残念であるが、すでに和解
に至った自治体の和解内容と同様
の傾向であることから、妥当なも
のと考えている。

建設経済 常任委員会

議案第73号 松戸市手数料条例の
一部を改正する条例の制定につ
いて

問 当該条例の改正は、建築物
のエネルギー消費性能の向上に関
する法律による適合性判定の審査
にかかる申請手数料を定めるもの
だが、近年の建築物で対象とな
るのは、どのようなものか。

答 対象建築行為は、2000
㎡以上の非住宅である特定建築物
の新築、または300㎡以上の特
定建築物の増改築である。例えば、
スーパードーム、老人ホーム等が対象と
なりうるものである。

市立病院検討 特別委員会

議案第55号 平成28年度松戸市病
院事業会計補正予算（第2回）

問 市立病院の具体的な救急患
者の受入れ強化について伺う。

答 救急車の円滑な受入れ体制
の強化や、積極的なドクターカー
の活用として、現場に直行させ能
動的な患者の獲得を行いたい。さ
らにICU、HCUといった重症
加算病床の稼働率向上のための病
床運用の体制強化を考えている。
議案第65号 平成29年度松戸市病
院事業会計予算

問 第二次経営計画は、第一次
経営計画をどのように評価し、策
定するのか。

答 第一次経営計画は課題解決
への取り組みの徹底や食欲さやス
ピード感が欠け十分な成果に至ら
なかった。そのため第二次経営計
画では、重点事業に絞り可能な限
り数値目標の設定を行い策定する。
また、病院事業における経営会議
を病院ごとに開催するなど進行管
理にスピード感をもたせる工夫を
講じていければと考えている。

一般質問

3月定例会では3月1日・2日・3日の3日間にわたり、市長の施政方針を中心に市政に関する一般質問を行いました。まず、6会派を代表する議員が、続いて会派に属さない議員2人が順次登壇しました。

まっぴー市民

田居 照康

まちづくりに対する
基本的な考え方について

問 環状の流れを意識したまちづくりに重点投資
をすべきと考えるが、市の基本的な考えは。

答 本市においては、東京外かく環状道路が平成
29年度に開通予定であり、北千葉道路は、積極的な
要望活動を行い早期の事業着手を目指している。こ
れらの事業により、広域的な幹線道路網が形成され
ることから、主要な道路との接続部周辺では、物流
機能、業務機能等の計画的な誘導・集積を図り、雇
用の促進等地域の活性化につなげていきたい。また、
新松戸駅周辺は、交通結節点としての利便性を生か
し、交流拠点としてふさわしい商業基盤の整備・育
成を図り魅力を高めていきたいと考えている。

民生費が50%を超えたことについて

問 平成29年度予算案の民生費が歳出構成比50%
を超えたことをどのように捉えているのか。また、
近隣市との比較について伺う。

答 民生費の構成割合が押し上げられたのは、社
会福祉費、生活保護費の社会的要因による事業費の
増加、積極的な子育て支援策への投資による児童福
祉費の増加等による。平成27年度決算統計に基づき
近隣市と比較すると一人当たりが負担する民生費
では、一番高い状況である。

市立松戸高校の改革について

問 学力・グローバル・部活動の3つの資質にお
いて成果を上げる教育活動の具体的な考えは。また、
部活動のさらなる充実についての考えを伺う。

答 平成31年度より単位制高校として、生徒の多
様なニーズに対応できるよう、学年の区分なく科目
選択が可能な教育課程の導入を検討している。部活
動では、市内小中学校の「強み」である部活動や学
習内容で優れた実績をあげた生徒に市立高校の「強
み」である広大な敷地と充実した設備や専門的な指
導をすることで成果を発揮させていきたい。

公明党

松尾 尚

小学生の放課後の居場所づくりについて

問 放課後児童クラブ、放課後KIDSルームの利用者の状況は。また、整備の前倒しや学校施設の積極的な活用について、市の考えを伺う。

答 社会環境の変化や、就労形態の多様化など働き世帯の増加により、放課後児童クラブ、放課後KIDSルームの需要は、増えていくものと考えている。また、整備の前倒しについては、子ども総合計画の見直しの中で、事業の推進を予定しており、総合教育会議を活用する等、教育委員会との役割分担や組織連携を強化し、子育てと仕事が両立できるような環境整備を行っていききたい。

市民の健康増進への取組みについて

問 健康マイレージ事業の拡大と特典の見直しの具体的な内容は。

答 事業の拡大としては、文化・社会活動にもマイルを付与しているが、若い世代の事業参加への仕組みづくりとして健康づくりに関する自主的な活動もマイル付与の対象項目へ追加を考えている。そのほか、インフルエンザ等の予防接種や禁煙外来の受診も付与対象とする予定である。特典の見直しとしては、各年代で抽選を実施し、提供商品も魅力あるものに工夫していききたい。課題を改善し、魅力的で参加しやすい事業となるよう取り組んでいきたい。

平和事業について

問 世界の状況の変化や時代に応じた平和事業が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 現在、継承事業として中学生を長崎市へ平和大使として派遣しているが、もう一つの被爆地である広島市の悲惨さも継承していくことが必要とされている。平成29年度は、広島市へ職員を派遣し、関係団体と意見交換し継承事業を研究していく。平和の大切さを着実に伝えていけるよう、平時から平和事業の充実に取り組んでいきたいと考えている。

市民クラブ

末松 裕人

幼児教育のあり方について

問 様々な体験、学びを通して人間形成の基礎が培われる幼児期の教育は重要と考えるが、行政の果たすべき役割について市の見解を伺う。

答 幼児教育は、教育的視点と子育て支援の視点を併せ持つ、教育と福祉のトータルな支援が必要であると認識している。現在、子育て支援では英語活動への支援に取り組み、保護者支援では子どもの育ちについて学ぶ機会を提供するなどしており、子ども・子育て支援の中で、教育委員会とも連携して幼児教育への支援を推進していく。

健全財政の確保策について

問 平成29年度予算において民生費が50%を超えるなど、義務的経費が増大する中で、まちを成長させるための財源確保を市はどう考えているか。

答 過去には、行財政改革や集中改革プランなど数次にわたり計画を策定し、収支の改善に取り組んできた。また、毎年の予算編成では、健全財政の確保に向けた種々の計画理念を踏襲し、将来の大型財政需要に耐えうるよう努めてきたところである。今後も将来負担に配慮しつつ、限られた財源を効率よく配分し、財政の健全化に努めていく。

UR住宅の再生について

問 UR住宅の再生については、市も積極的に関わっていくべきであり、団地再生なくして本市の発展なしと考えるが、市の見解は。

答 市内には、UR都市機構が管理する大規模団地が常盤平・牧の原・小金原に3つあり、これらの団地が存在する地域は、本市の総合戦略を推進するうえで重要な位置を占めることから、良好な環境を持つ、ブランド力のある住宅地として再生できるよう、URが策定する「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」に、本市が進めるまちづくりの方向性が十分反映されるよう、UR都市機構と協議していく。

政策実行フォーラム

二階堂 剛

放課後児童クラブ 法人運営の安定化のために

問 近隣市に比べて高かった放課後児童クラブ月額利用料が引き下げとなるが、引き下げによる法人運営の安定化をどのように考えるか。

答 今回、一人当たり3000円の利用料金引き下げを予定しているが、引き下げ分については法人へ直接補てんするのではなく、支援員等の処遇改善新たな人材確保ができるよう人件費を中心とした補助額の見直しを予定している。併せて、各法人の運営施設数による補助額の増額も行うことで、これまでの水準を維持できるよう調整を進めている。

医師の確保に向けての取り組みは

問 新病院開設に向け、経営的にも重要となる高度医療専門病院としてのブランド力を高めるためにも、課題である医師の確保はどのような状況か。

答 平成29年12月開院の松戸市立総合医療センターは、東葛北部保健医療圏の基幹病院としてさらなる充実を図るためには、医師等の安定した確保や育成が必要である。そこで、大学関係機関等への依頼はもとより、医療の質の向上に向けた研修等の支援強化に取り組んでいく。また、厳しい勤務環境にある医療従事者が健康で安心して働ける環境を整備する等、人材確保や定着化に向けて取り組んでいく。

地域の支えあひについて

問 高齢者が安心して住み続けられるよう、身近な場所での相談活動や自治会等による地域の支えあひへの住民参加はどのくらい進んだか。

答 高齢者がいつまでも元気で暮らせるまちづくりの推進には、介護等の専門的サービスの質を確保するとともに、日々の生活を支えるためのサービスを充実していく必要があるため、地域の方々の理解と参画をいただく必要があると考える。現在、地域での支えあひを推進するための勉強会を開催し、導入に向けた取り組みを開始している。

日本共産党

高木 健

大型商業施設の進出、誘致と市内中小企業者の共存について

問 大型店の出店・誘致に対する考え方は。また、地域の商店街の活性化について伺う。

答 大型商業施設の出店は、周辺の商店街が影響を受けてしまうデメリットがある一方、雇用の確保や市内消費を喚起し、買い物客の市外流出を防止するとともに、市外からの買い物客の流入が見込まれ、税収の増加につながるというメリットがあげられるが、誘致については、十分な検討を重ねていくべきものと考えている。また、商店街は、地域コミュニティの核となることで地域住民の交流を生み、豊かな生活環境を生み出すことにつながるため、活性化の必要性は高いと認識している。今後も引き続き、商店街の意欲的な取り組みを積極的に支援していきたいと考えている。

矢切観光拠点について

問 観光拠点での販売額のうち、どの程度を市内の農作物と見込んでいるのか。また、民設民営の直売所等において、市内農家の販路拡大にどこまで寄与することができるのか。

答 施設の内容や規模等については検討中だが、拠点整備の目的の一つである本市の農業振興を踏まえると、可能な限り地元の農産物を直売所に出荷していただきたいと考えている。また、民間事業者の参入条件として市内の農産物の受け入れを大前提に考えており、今後、具体的な体制等の検討を進める。

待機児童対策の現状と課題について

問 待機児童対策は、保育需要に応じたものとなっているのか。

答 待機児童解消のための施設整備は、保育需要の高い地域を重点地域として認可保育園の公募を行っている。また、小規模保育施設についても0歳児から2歳児の需要が特に高い地域に対し整備を進めており、今後も保育需要の動向を見据えていく。

清松会

大橋 博

寄附事業について

問 現状のふるさと納税をMYふるさと納税に特化した取り組みにシフトする考えはないか。

答 自ら住む町への関心を高める市民からのふるさと納税への取り組みは、市民と行政が共にまちづくりに取り組みという環境が形成されていくうえで有効なものとして認識している。今後、市民が関心を持つような広報の充実を図りながら検討していきたい。

学校の跡地利用について

問 学校統廃合が行われてから10年以上経過しているが、その跡地活用について市の見解を伺う。

答 学校跡地の活用については、施設の老朽化が進むなど管理面での問題点もあることから、早急に解決すべき課題と認識している。特に旧根木内東小学校の跡地については、本市のスポーツ施設の現状や松戸市総合戦略の「子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり」といった施策の方向性に鑑み、若者や子育て世代が親子で楽しめるニュースポーツに特化し、松戸の魅力を高める複合型スポーツ施設を新たに整備することを視野に入れて検討している。

市立病院の経営問題について

問 市立病院では115名の臨時医師が配置されており、毎年多額の賃金を支給している。必要とは思えない臨時医師を減らす考えはあるか。

答 臨時医師のうち、研修医については、当院が臨床研修指定病院として千葉県調整による採用や、大学医局等との協議により配置している。また、嘱託医は、24時間体制の当直要員、医師の病休、産休育休要員等として、多様な専門分野での診療のため68名採用している。嘱託医の削減については、病院事業管理者、病院長、各診療科部長等のヒアリングを踏まえ、嘱託医の必要性を厳しく評価し、高度医療維持の視点とバランスを図り考えていきたい。

無所属

中田 京

市民の意見が生きる 計画への評価基準は

問 松戸市総合計画は、平成29年度から最終の第6次実施計画期間に入る。新総合計画は、市民の意見を生かしたものがよいと思うが、その評価基準とは何か。

答 29年度は、新総合計画策定に向けた準備期間と考えている。計画を達成するためには、市民と行政が協働して取り組むことが不可欠であり、策定のプロセスから市民に参加していただかなければならない。計画策定後に「めざす将来像の達成」に向けて、どれだけ協働体制が整い、一緒に行動することができたかが、一つの評価基準となりうると考えている。

無所属

山中 啓之

シビックプライドの醸成や

市民満足度について

問 近年、本市に対する市民満足度は上がっているか。その分析にはどのような指標を用いているか。

答 後期基本計画進行管理のための市民意識調査の中で、本市に住み続けたいと思う人の割合が平成27年度は66・5%で過去最高となっている。これをもってシビックプライドにつながる満足度を総合的に評価することは難しいが、良い傾向に推移していると考えている。市民満足度の分析には、「松戸市に住み続けたいか」「松戸の良さを伝えるために取り組んでいるか」等の指標を用いており、各種指標を「まちづくり指標」および「めざそう値」として設定して、実績を把握している。



会派別一覧

～松戸市議会では3人以上で構成する団体を会派としています。この4月、会派構成に変更がありました。～

◎幹事長
○副幹事長

公明党	
◎ 城石 鈴	美之明尚理之一明幸美
○ 鈴松 岩	正龍智 麻伸英公正由
○ 高伊 飯	所川 木尾瀬橋東善原角
○ 織緒 諸	

まつど自民	
◎ 田石 大	康勇児範介祥子雄彦民
○ 大鈴 杉	照 健茂大由み勝俊暁
○ 木張 平	居井塚谷木山村替林沢
○ 小	

市民クラブ	
◎ 末岩 涉	人嗣士一作敏一孝
○ 市山 大	裕研剛惠栄知能英
○ 深中	松堀谷川口井山川

◎ 山中 啓之	無所属
◎ 大橋 博	無所属
◎ 箕輪 信矢	無所属
◎ 桜井 秀三	無所属
◎ 中田 京	無所属

議員定数：44人

※変更のあった議員(会派解消による)
【4月1日現在】

政策実行フォーラム	
◎ 二階 堂	剛一 薫二薫
○ 関D 増原 谷	ジロ 裕

日本共産党	
◎ 宇津野 高	行子み子健
○ 高平 山	史妙きよ
○ 高	野橋田口木

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

◎ 山口 栄 作	美範二一明祥行嗣雄剛
○ 城大原伊飯杉宇津野岩張二階堂	所谷東善山野堀替

議会を傍聴しませんか

●問い合わせ先/市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしております。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111

6月定例会の開催予定

平成29年松戸市議会6月定例会は、6月13日(火)から29日(木)まで、いずれも10時より開催する予定です。
● 請願・陳情は、6月2日(金)正午が提出期限です。

期日	主な内容
6月13日(火)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
14日(水)	本会議(一般質問)
15日(木)	本会議(一般質問)
16日(金)	本会議(一般質問)
19日(月)	本会議(一般質問)
20日(火)	本会議(一般質問・議案質疑)
22日(木)	総務財務常任委員会
23日(金)	健康福祉常任委員会
26日(月)	教育環境常任委員会
27日(火)	建設経済常任委員会
29日(木)	本会議(議案等の採決)

※このほか、随時、委員会が開催される場合があります。また、開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページでご確認ください。

意見書3件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。
● 政治分野への男女共同参画を推進するための法整備を求める意見書
● 無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書
● 海洋ごみの処理推進を求める意見書



受賞者の皆さんと深山能一議長

松戸市議会表彰

2月28日に、松戸市議会表彰を本会議場で執り行いました。
この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、功労に報いるとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。

個人表彰

肥塚 紗奈 (市立古ヶ崎小学校) 一列左から一番目

★第7回「ボールペン字大賞」自由文部門
小中学生の部 文部科学大臣賞

河田 実田 (千葉県立小金高等学校) 一列左から二番目
★第20回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会
女子1500m 第1位

青沼 徳大 (市立河原塚中学校)
★第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会
クラスA走高跳 第1位
※当日は都合により欠席されました。

団体表彰

DSC北松戸

小林 拓斗 (市立東松戸小学校) 一列右から一番目
光永 翔音 (市立上本郷小学校) 二番目

★第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会 男子 200m
フリーリレー10歳以下 第1位

市立第一中学校 吹奏楽部

代表 **山崎 心香** 一列左から一番目
★第22回日本管楽合奏コンテスト全国大会
中学校B部門 最優秀賞

市立第四中学校 吹奏楽部

代表 **大堀 蘭乃音** 一列右から一番目
代表 **松坂 恵** 二番目
★第64回全日本吹奏楽コンクール 中学校の部 金賞

市立第六中学校 管弦楽部

代表 **藤川 智帆** 三列左から一番目
★第22回日本管楽合奏コンテスト全国大会
中学校A部門 最優秀賞

市立小金中学校 吹奏楽部

代表 **坂田 真彩** 三列左から二番目
★第22回日本管楽合奏コンテスト全国大会
中学校B部門 最優秀賞

聖徳大学附属女子中学校高等学校 書道部

代表 **安原 莉夏** 三列右から一番目
★第58回全国書道展 団体の部 外務大臣賞

(敬称略)



市立第四中学校吹奏楽部の皆さんに「ウェン・ユア・ハート・メイクス・ア・ウィッシュ」など6曲を演奏していただきました。

政務活動費の領収書等の公開について

松戸市議会では、政務活動費についてさらなる使途の透明性を確保するため、平成28年度政務活動費の収支報告にかかる領収書等を市議会ホームページで公開することとなりました。なお、公開時期は、平成29年7月以降を予定しております。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047(366)7381

お詫びと訂正

議会だより第228号において誤りがありました。訂正箇所は、1ページ伊勢丹松戸店を支援する決議文中、「昭和40年4月に開店し」とあるのは、「昭和49年4月に開店し」の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。

編集の窓

木々の新緑が春光に映える季節になりました。3月定例会では、松戸市議会表彰式の中で、市立第四中学校吹奏楽部に素晴らしい演奏を披露いただきました。新年度に向け幸先の良いスタートが切れました。最近、スポーツをはじめ文化、学術などさまざまな方面で本市にゆかりのある方が活躍される様子を拝見することが多く、大変喜ばしく、また誇らしく感じます。広報委員会では、こうした松戸市に関する話題も含めた議会だよりの編集を心がけておりますので、ぜひ次号もご覧ください。

次回発行予定は8月1日(火)です。